

産業標準化活動に貢献

日本認証株が、令和6年度「産業標準化事業表彰」 経済産業大臣表彰受賞！

日本認証株式会社（代表取締役 社長赤松 浩二）は、経済産業省が実施する「令和6年度産業標準化事業表彰」において「経済産業大臣表彰」を受賞しました。表彰式は、2024年10月8日（火）に都市センターホテル（東京都千代田区）で開催されました。



■産業標準化事業表彰制度とは

国際標準や日本産業規格（JIS）の作成等に率先して取り組まれ、顕著な功績のあった個人や組織を顕彰するもので、毎年10月の「産業標準化推進月間」に表彰式を開催しています。功績に応じて、内閣総理大臣表彰、経済産業大臣表彰及びイノベーション・環境局長表彰を行います。

■経済産業大臣表彰

JIS・国際規格の策定やこれらに係る適合性評価活動（関連する普及・啓発、教育、研究、国際協力等の活動を含む）や、標準化を活用した企業の市場創出や社会課題の解決等に資する標準化活動を推進するための取組において、他の模範となるような顕著な功績があった方及び組織に対する表彰です。

■受賞理由（主な功績）

機械安全に関する国際規格の成立を機に、2004年日本初の機械安全要員資格認証事業を開始。その後多くの安全資格者が誕生し、その有効性が広く認識され、JIS B 9971（機械安全に関する要員の力量）の制定により、機械安全資格の普及や安全機器の市場拡大に貢献。また、協調安全の安全方策である Safety 2.0 の適合性評価事業を世界で初めて2018年に開始。経済産業省より2019年から3年間「協調安全に関わる要員の認証手続き等に関する国際標準化および国際認証制度の創設」事業、2022年から3年間「協調安全に関わる規格の国際標準化」事業を受託し国際規格化を推進。

□主たる功績1

国際規格に基づく安全要員認証制度の日本初の構築と認証事業の推進拡大

□主たる功績2

国際規格に基づく機械安全に関する要員能力基準である JIS 作成

□主たる功績3

国際標準化を目指す協調安全の安全方策である Safety 2.0 認証の世界初の構築と普及促進の実践